

防災チェックポイント

★地震災害に備えて

防災対策特別委員会

地震は突然発生します。地震災害に備え、自分の家の安全対策をしておくとともに、身の安全の守り方を知っておくことが必要です。また、水や食料の備えをしておくことも重要です。

防災対策には、十分とか絶対大丈夫というものはありません。一人一人が、自分の周りにどのような災害が及ぶのか考え、その被害をできるだけ少なくするために必要な対策を講じることが重要です。

□家の安全対策

家具は必ず倒れるものと考えて、対策をしましょう。



タンス 床側をストッパーなどで固定し、天井側はポール式器具で固定。

食器棚・本棚 L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、開き戸には開かないように留め金具をつける。

テレビ 粘着マットを敷いて転倒を防ぐとともに裏側を壁などに固定する。

冷蔵庫 裏側をワイヤーなどで壁に固定する。

□水や食料の備え

普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。防災のための特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

災害時に備えた備蓄品の例

- 飲料水 1人1日3日を目安に、3日分を用意。
- 食品 ご飯、ビスケット、板チョコ、乾パンなど一人最低3日分の食料を備蓄しておきましょう。
- 下着、衣類
- トイレットペーパー、ティッシュペーパーなど
- 懐中電灯、マッチ、ろうそく
- カセットコンロ



☆ご家族同士の安否確認方法

家族みんなが持っている携帯電話でも、災害時はつながりにくくなるため、連絡がとれない場合があります。安否確認には、『災害用伝言ダイヤル(171)』や携帯電話のインターネットサービス『災害用伝言板』を利用しましょう。



災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板は、毎月1日と15日に体験利用が可能です。
突然の災害に備え、訓練しておきましょう。

☆もしもの時の情報収集

通信インフラ等が多大な被害を受けた際には、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)が情報伝達手段として広く活用されています。周防大島町でもフェイスブックページで情報を発信しておりますので、これを機に、ぜひフォローしておいてください。